

第 31 回若山牧水賞の概要

1 賞の目的

人間や自然への溢れる想いを歌い、日本の短歌史に偉大な足跡を残した国民的歌人「若山牧水」の業績を永く顕彰するため、短歌文学の分野で傑出した功績を挙げた者に賞を贈ることによって、我が国の短歌文学の発展に寄与するとともに、心豊かな文化意識の高揚と本県のイメージアップを図る。

2 主催

宮崎県、宮崎県教育委員会、宮崎日日新聞社、延岡市、日向市

3 賞の対象

令和7年10月1日から令和8年9月30日までに刊行された歌集及び若山牧水論の著者の中から、これまでの実績を参考にし、短歌文学の分野で傑出した功績を挙げた者。

4 受賞者数

原則として毎年1名

5 選考方法

上記3の対象者の中から、全国の有力歌人にアンケートを行い、その結果を参考にして選考委員の総意をもって運営委員会の決定とする。

6 選考委員

高野 公彦氏（歌人、「コスモス」発行人、第1回若山牧水賞受賞）

栗木 京子氏（歌人、「塔」選者、第8回若山牧水賞受賞）

俵 万智氏（歌人、「心の花」会員、第11回若山牧水賞受賞）

伊藤 一彦氏（歌人、宮崎県立図書館名誉館長、「心の花」会員、「現代短歌・南の会」代表）

7 特別顧問

馬場 あき子氏（歌人、日本藝術院会員、「かりん」主宰）

佐佐木 幸綱氏（歌人、日本藝術院会員、「心の花」編集人、第2回若山牧水賞受賞）

8 賞

正賞（賞状、記念品：トロフィー）及び副賞（賞金100万円）

9 若山牧水賞運営委員会

委員長 宮崎県知事 河野俊嗣

副委員長 宮崎日日新聞社代表取締役社長 見山輝朗

宮崎県教育長 吉村達也

委員 延岡市長 三浦久知、日向市長 西村賢、

（公財）宮崎県芸術文化協会会長 岩切裕敏、歌人 伊藤一彦、

宮崎日日新聞社編集局長 吉岡智子、宮崎県総合政策部長 大東収

監事 宮崎日日新聞社文化部長 樋口由香、宮崎県総合政策部次長 堀尚子

10 後援

（公財）宮崎県芸術文化協会、宮崎県歌人協会、若山牧水延岡顕彰会、日向若山牧水顕彰会、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、西日本新聞社、日本経済新聞社宮崎支局、南日本新聞社、共同通信宮崎支社、時事通信社宮崎支局、NHK宮崎放送局、MR T宮崎放送、UMKテレビ宮崎、エフエム宮崎、夕刊デイリー新聞社、MCN宮崎ケーブルテレビ、ケーブルメディアワイワイ

11 歴代受賞者

H 8	第 1 回	高 野 公 彦 氏	歌集「天泣」
H 9	第 2 回	佐佐木 幸 綱 氏	歌集「旅人」
H10	第 3 回	永 田 和 宏 氏	歌集「饗庭」
H11	第 4 回	福 島 泰 樹 氏	歌集「茫漠山日誌」
H12	第 5 回	小 高 賢 氏	歌集「本所両国」
		小 高 ゆかり 氏	歌集「希望」
H13	第 6 回	河 野 裕 子 氏	歌集「歩く」
H14	第 7 回	三 枝 昂 之 氏	歌集「農鳥」
H15	第 8 回	栗 木 京 子 氏	歌集「夏のうしろ」
H16	第 9 回	米 川 千嘉子 氏	歌集「滝と流星」
H17	第 10 回	水 原 紫 苑 氏	歌集「あかるたへ」
H18	第 11 回	坂 井 修 一 氏	歌集「アメリカ」
		俵 万 智 氏	歌集「プーさんの鼻」
H19	第 12 回	香 川 ヒ サ 氏	歌集「perspective」(パースペクティヴ)
H20	第 13 回	日 高 堯 子 氏	歌集「睡蓮記」
H21	第 14 回	大 島 史 洋 氏	歌集「センサーの影」
H22	第 15 回	島 田 修 三 氏	歌集「蓬歳断想録」
		川 野 里 子 氏	歌集「王者の道」
H23	第 16 回	大 下 一 真 氏	歌集「月食」
H24	第 17 回	大 口 玲 子 氏	歌集「トリサンナイト」
H25	第 18 回	晋 樹 隆 彦 氏	歌集「浸蝕」
H26	第 19 回	大 松 達 知 氏	歌集「ゆりかごのうた」
H27	第 20 回	内 藤 明 氏	歌集「虚空の橋」
H28	第 21 回	吉 川 宏 志 氏	歌集「鳥の見しもの」
H29	第 22 回	三 枝 浩 樹 氏	歌集「時禱集」
H30	第 23 回	穂 村 弘 氏	歌集「水中翼船炎上中」
R 元	第 24 回	松 村 由利子 氏	歌集「光のアラベスク」
		黒 岩 剛 仁 氏	歌集「野球小僧」
R 2	第 25 回	谷 岡 亜 紀 氏	歌集「ひどいどしゃぶり」
R 3	第 26 回	黒 瀬 珂 瀾 氏	歌集「ひかりの針がうたふ」
R 4	第 27 回	奥 田 亡 羊 氏	歌集「花」
R 5	第 28 回	永 田 紅 氏	歌集「いま二センチ」
R 6	第 29 回	大 辻 隆 弘 氏	歌集「橡と石垣」
		高 山 邦 男 氏	歌集「Mother」
R 7	第 30 回	山 中 律 雄 氏	歌集「光圈」